

# 第27回再処理・リサイクル部会 全体会議 議 事

1. 部会長挨拶
2. 2014年度活動中間報告と今後の計画
3. 第6回ぎんぎんセミナー報告及びWG等の活動報告  
第10回再処理・リサイクル部会セミナー案内 等
4. 部会内規の改定
5. 部会運営委員(2014.5.10)
6. 再処理・リサイクル部会セッション
7. 国際活動委員会セッション「部会活動としての  
日韓交流の10年と今後の活性化」への出席依頼

# 1. 部会長挨拶

**再処理・リサイクル部会**

**井上 正 部会長(電中研)**

## 2. 2014年度活動中間報告と今後の計画

- (1) 4月 拡大運営小委員会・・・平成26年度活動・予算計画 他
- (2) 7月 拡大運営小委員会・・・ぎんぎんセミナー準備 他
- (3) 8月 拡大運営小委員会・・・SA研究WG報告 他
- (4) 8月 第6回ぎんぎんセミナー

### ----- ここまで実績 -----

- (5) 9月9日 第27回部会全体会議(京都大)
- (6) 10月 拡大運営小委員会・・・ぎんぎんセミナー報告、部会セミナー準備 他
- (7) 11月9～12日 ANUP(韓国、済州島)
- (8) 12月 拡大運営小委員会・・・活動/予算(H26実績とH27計画)他
- (9) 1月 第10回再処理・リサイクル部会セミナー
- (10) 2月 拡大運営小委員会・・・全体会議準備、部会セミナー報告 他
- (11) 2月 平成26年度 再処理リサイクル部会 部会賞決定
- (12) 3月20～22日 第28回部会全体会議(茨城大)
- (13) その他 課題議論WG、SA研究WG、テキスト作成WG
- (14) その他 クリーンアップ分科会に部会メンバー参加

### 3. 2014年度活動報告と計画:トピックス(その1)

#### (1) 第6回ぎんぎんセミナー:8月20、21日

- ・テーマ:放射性廃棄物処理
- ・参加者:約20名
- ・1日目は高専、JAEAおよびメーカーから研究紹介や研究開発の方向性についての講演が行われた  
2日目は日本原燃から六ヶ所再処理工場における放射性廃棄物の処理についての講演が行われた。  
セミナー後に日本原燃見学ツアーを実施した(希望者のみ参加)。



#### (2) 第10回再処理・リサイクル部会セミナー:2015年1月16日(予定)

- ・テーマ:これからの再処理技術(仮)
- ・主旨:再処理分野での先端技術等について紹介するとともに、これからの再処理技術の方向性について議論し、今後の再処理技術の発展に寄与することとしたい。
- ・プログラム(予定)
  - 「新型ガラス溶融炉の試験運転計画と実績について」
  - 「核燃料サイクル施設シビアアクシデント研究ワーキンググループ報告」

# 3. 2014年度活動報告と計画:トピックス(その2-1)

## (1) 課題議論WG

### <活動報告>

課題議論WGでは、現在の日本の再処理あるいはもっと大きな視点で核燃料サイクルが抱える課題を明確にするとともに、再処理あるいは核燃料サイクルのあるべき姿を議論し、学会として社会に提言すべく活動を行っている。

WGは3回開催し、幹事会は2回行っている。

その内、2014年度は、WGは1回、幹事会は1回である。

WGでは、国内外での原子力開発の進め方の参考事例について、情報を提供してもらう形で実施しており、第3回WGでは、フランスにおけるステークホルダーの関わりを中心に情報提供をしていただき、地域住民との関わりについて議論を行った。

幹事会において、今後の方針について議論を行い、

今まで行ってきたWGでの情報を念頭に入れつつ、今後は課題抽出を行うと共に再処理あるいは核燃料サイクルの将来の理想像について議論を行い、その理想像実現に向けての課題を明らかにすべく、活動を続けることとした。

### 3. 2014年度活動報告と計画:トピックス(その2-2)

#### (2) SA研究WG

核燃料サイクル施設における内的及び外的事象に起因するシビアアクシデント(SA)を科学的・技術的観点から選定する方法について検討した。

- ・ 2013年度に実施した全15回のWG会議により得られた研究成果を取り纏め、これを「再処理・リサイクル部会企画セッション」にて報告する。
- ・ 同様の内容(概要)を再処理・リサイクル部会拡大運営小委員会(8/7)及び原子力安全部会夏期セミナー(8/19)にて報告した。
- ・ 2014年度も活動を継続しており、これまで2回のWG会議を開催した。

### 3. 2014年度活動報告と計画:トピックス(その2-3)

#### (3) テキスト作成WG

・趣旨: 燃料サイクルに関するテキストは既にいくつかあるが学会として情報発信したものがないことから、学会という中立・公正な立場で燃料サイクルに関する最新の技術の解説を主としたテキストを作成する。

Phase IIに引き続き、核燃料サイクルの技術の詳細及び最近の技術動向を網羅したPhase IIを作成する。

・作成状況: 原稿(案)の査読中。完成した項目から順次公開予定。

≪核燃料テキスト(Phase I)は、再処理・リサイクル部会のHP  
(<http://www.aesj.or.jp/~recycle/top.html>)にて公開中≫

#### (4) クリーンアップ分科会での活動

① JA南相馬の協力のもと、稲作験を継続(土壌の性質及びCs移行挙動の把握)

・4月30日:稲作試験前のサンプリング

・5月13日:田植えの立会とサンプリング

・8月 5日:サンプリング

② 除染情報プラザへの専門家派遣継続(除染アドバイザーとして派遣)

・毎週末に1名駐在(延べ 411名;8月末現在)

## 4. 部会運営小委員会内規の改定

### ○改定の目的

任期途中での委員の追加および交代について、手続きを明確化することを目的とする。

### ○改定案

#### 第3条第2項

(現行)

やむを得ぬ理由により任期途中で退任する場合には、代行者を立てることができる。代行者は運営小委員会で選任し、本部会員または部会全体会議に報告して了解を得る。

⇒(改定案)

任期途中で運営委員を追加または交代する場合には、候補者を運営小委員会にて審議したのち、本部会員または部会全体会議に報告して了承を得る。なお、新たに選任された運営委員の任期は他の委員の残りの任期と同じとする。

# 5. 部会運営委員(2014.5.10)

部会長:	井上 正	(電中研)	
副部会長:	藤田 玲子	(東芝)	分担
運営委員:	梅田 幹	(原子力機構) . . . . .	庶務
	渡邊 大輔	(日立) . . . . .	庶務
	黒田 一彦	(三菱重工) . . . . .	会計
	塚原 剛彦	(東工大) . . . . .	会計
	赤澤 孝	(関電) . . . . .	企画(学会企画セッション、部会セミナー)
	飯塚 政利	(電中研) . . . . .	企画(学会企画セッション、部会セミナー)
	稲垣 八穂広	(九大) . . . . .	企画(国際WS、ぎんぎんセミナー)
	太田 和明	(三菱マテリアル) . . . . .	企画(部会セミナー、国際WS)
	加瀬 健	(原子力機構) . . . . .	企画(ぎんぎんセミナー、部会セミナー、部会HP)
	澤田 佳代	(名大) . . . . .	企画(学会企画セッション、部会セミナー)
	鈴木 達也	(長岡技大) . . . . .	企画(学会企画セッション、ぎんぎんセミナー)
	大西 貴士	(原子力機構) . . . . .	広報(ぎんぎんセミナー、部会セミナー)
	立花 武憲	(日本原燃) . . . . .	広報(部会セミナー、ぎんぎんセミナー)
	佐藤 修彰	(東北大) . . . . .	広報(国際WS、学会企画セッション)
	多賀 純一	(東芝) . . . . .	広報(学会企画セッション、国際WS)
	中熊 哲弘	(東電) . . . . .	広報(六ヶ所情報、部会セミナー)
	齋藤 巖	(日本原燃) . . . . .	広報(六ヶ所情報、部会セミナー)
	野上 雅伸	(近畿大) . . . . .	広報(学会企画セッション)
	日山 伸行	(原燃工) . . . . .	広報(部会セミナー、国際WS)

顧問: 竹内哲夫(元原子力委員会/東電)、近藤駿介(元原子力委員長)、田中知(学会福島特別プロジェクト代表)

参与: 野村茂雄、小山智造、峯尾英章、天野治、駒義和、藤田雄二、森田泰治、松村達郎、小泉務、小山真一(JAEA)、鈴木一弘、鈴木一雄、富田邦裕、向原進、徳森律朗、山澤正俊(東電)、子安徹人(関電)、西村友宏(電中研)、池田泰久(東工大)、松本史朗(JNES)、田辺哲朗(九大)、山名元、白井理(京大)、山村力(東北大)、浅沼徳子(東海大)、倉重有幸(原燃工)、半沢正利、大場一鋭、**染谷浩**(MMC)、有田裕二(福井大)、森行秀(MHI)、深澤哲生、星野国義、鴨志田守(日立GE)、山田和矢(東芝)、中村裕行、加納正規(JNFL)、波多野守

## 6. 再処理・リサイクル部会企画セッション (共催:原子力安全部会)

「核燃料サイクル施設シビアアクシデント研究WG報告」  
(9月9日(火) 13:00~14:30、D会場)

座長(東工大) 池田 泰久 様

### 1. 報告書概要説明

(1)本WGにおける検討の目的

(日立GE) 深澤 哲生 様

(2)対応を検討すべきSAの選定手順

(東京都市大) 村松 健 様

(3)検討すべきSAの選定のための判断基準

(原子力機構) 吉田 一雄 様

(4)リスク評価の適用例

(原子力機構) 阿部 仁 様

### 2. 総合討論

# 7. 国際活動委員会セッション「部会活動としての日韓交流の10年と今後の活性化」への出席依頼

9月10日(水) D会場 13:00~14:30

- (1) 日韓原子力学会学生・若手研究者交流事業への道  
(室蘭工大)香山 晃
- (2) 炉物理部会・核データ部会の日韓合同セッション  
(福井大)竹田敏一
- (3) 材料部会・核燃料部会・核融合工学部会の日韓協力  
(京都大)木村晃彦
- (4) 核燃料部会の日韓合同セッション  
(福井大)山脇道夫
- (5) 4部会合同日韓サマースクールについて  
(東京大)上坂 充
- (6) 熱流動部会の日韓サマースクール／セミナー  
(九州大)守田幸路
- (7) 保健物理・環境科学部会の日韓セミナー  
(東京大)飯本武志